

議 題 項 目	要 旨
<p>【地域で選定する地域共通の課題1】</p> <p>今後発生すると予測される東海・東南海・南海地震や、台風・大雨による大規模な風水害に備えて～津波対策や風水害対策について</p>	<p>「東海・東南海・南海地震」が発生すると、東紀州地域は甚大な被害を受けると予想されており、特に津波は、「東日本大震災」と同じように、10mをはるかに超えると想定されています。</p> <p>こういった中、避難路などのハード対策だけでなく、ソフト対策も急がれており、各市町でその取組を最優先に行っています。</p> <p><u>今後も引き続き、県、市町、防災関係者、地元住民などが一体となって取組を進める必要があると考えますので、取組内容、課題などの情報交換を行いたいと考えています。</u></p> <p>また、今年の台風12号では、熊野市や紀宝町を中心に甚大な被害が発生するとともに、風評被害などにより、熊野古道客も大幅減となりました。</p> <p><u>こうした風水害による大規模災害は年々増えており、その対策や復興、風評被害対策などについて、県、市町、関係者などによる情報共有や連携が必要であると考えています。</u></p>
<p>【地域で選定する地域共通の課題2】</p> <p>高速道路の延伸に伴う、自然、歴史、文化、食などの多様な地域資源を活用した、今後の観光、文化、産業の振興及びまちづくりについて</p>	<p>遷宮に合わせて高速道路の整備が進められていますが、開通すれば、東紀州地域の集客交流などに大きなチャンスとなります。</p> <p>また、平成26年度は、世界遺産である熊野古道伊勢路も登録10周年の節目の年となります。</p> <p>これまで東紀州では、豊かな自然、歴史、文化、食などの多様な地域資源を活用して、第1次産業の振興や地域ブランド化を進めてきましたが、<u>これらの大きなチャンスを活かして、更なる活性化を図る必要があります。</u></p> <p><u>そのためには、県や東紀州の市町が一体となってさまざまな取組を進めていくことが重要であり、今後も情報共有や連携の強化を図っていききたいと考えています。</u></p>